



2018年7月13日

報道機関関係者の皆さまへ

大学生が高校生に伝える被災地の今 「高校・大学連携合同学習会・関上バスツアー」

のお知らせ

報道関係者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より本学院の教育へご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

尚綱学院大学では東日本大震災直後から地元名取市にある大学として、震災 1 年後にはボランティアステーションを立ち上げ、主に名取市内の仮設住宅等において寄り添い支援を続けてきました。

震災から 7 年半が経過し、時間経過による風化が進んでおりますが、震災を知らない、あるいは覚えていない次世代にも伝えていくために、高等学校と大学と合同の学習会を実施します。

大学生がこれまでの活動や学習会を通じて学んだ被災地の状況を、高校生に伝え、共に震災について知り、改めて学び直す初の試みです。参加する高校は尚綱学院高校と福島県福島市の桜の聖母学院高校で、震災当時、小学校低学年だった世代が、宮城県と福島県の状況の違いについても学びあいます。

つきましてはお忙しい時期とは存じますが、是非取材頂き、報道下さいますよう宜しくお願いします。

記

■日時：2018年7月22日（日）9：30～17：00 終了予定

■場所：名取市関上／尚綱学院大学

■内容：裏面参照

■主催：尚綱学院大学・ボランティアステーション

学都仙台コンソーシアム 復興大学事業（宮城県助成事業）



＜リリースに関するお問合せ先＞

所属：尚綱学院大学 連携交流課

氏名：連携交流課 佐々木真理

TEL：022-381-3315

Email：renkei@shokei.ac.jp

尚綱学院大学
尚綱学院高等学校
桜の聖母高校（福島）

高校・大学間連携 関上バスツアー合同学習会 参加者募集！！

宮城県名取市関上
～あの日あの時からを振り返り、これからを考える～

日程：2018年7月22日（日） 8：30～16：30（予定）（雨天決行）

集合場所：仙台駅東口観光送迎バス乗り場・名取駅東口

参加費：無料

東日本大震災から7年。テレビなどのメディアでは震災関連情報の報道も少なくなりましたが、被災地では今でも日々状況が変化しています。今回の学習会では、尚綱学院大学のある名取市でも、特に被害が大きかった関上（ゆりあげ）地域を見学し、高校生と大学生と一緒に被災地や「復興」について考えます。

あの日から被災地はどう変化し、今ほどのような状況なのか。現地を訪れ自分の目で確かめてみませんか？

プログラム（予定）

関上地区

- ・関上朝市・慰霊碑見学
- ・語り部さんのお話

尚綱学院大学

- ・尚綱学院大学ボランティアチームTASKIの活動紹介
- ・グループでのワークショップ

5月に行われた
関上学習会の様子



尚綱学院大学
ボランティアチームTASKIの活動紹介



慰霊碑見学



語り部さんのお話



グループでのワークショップ

尚綱学院大学 連携交流課

Tel: 022-381-3315

Mail: renkei@shokei.ac.jp